

ペットボトルで作る エコな風力発電

「夏休み子ども体験教室」の第1弾は西澤館長が講師となり、工作で「ペットボトルで作るエコな風力発電」でした。小学校の夏休みは始まったばかりですが、20組の親子40名が参加していただき、とても盛況でした。

まずモーターにLED（発光ダイオード）を取り付け、ケースに組み込みます。指でモーターの軸を回すとLEDが光り、「光った〜」と、あちこちで歓声があがりました。モーターの仕組みやLEDについて少し説明が必要でしたが、低学年が中心で難しい話しは省略しました。次にペットボトルで風車を作りました。カッターとはさみで6枚の羽根を切り出してモーターと組合せましたが、最初はみんなうまく出来ませんでした。が、「羽根の向きと長さを短くしてみるといいよ!」というヒントからそれぞれ工夫して、だんだんうまく回りはじめました。風をとらえるように尾翼をつけて、好きな色に仕上げました。時間がなく、屋外で試せませんでした。が、扇風機にかざすとみんなLEDが点灯していました。

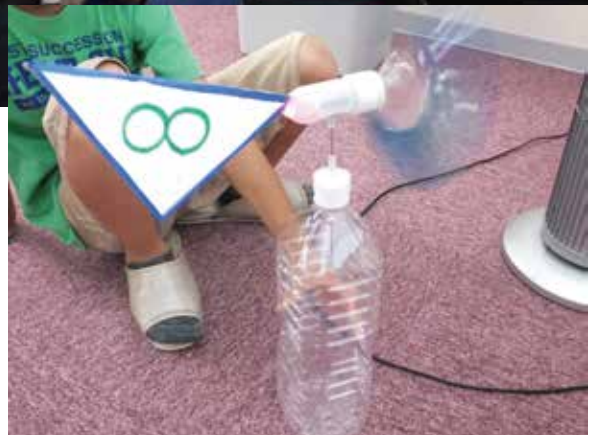
自由研究のテーマとして「風の強さとLEDの光り方」とか「羽根の形のちがいと風車の回り方」なども家に帰って実験してみると面白いよと伝えて終わりました。「うまく風車を回すように考えることが楽しかった。」という感想などがありました。2時間の楽しい体験教室になりました。



みんな真剣に聞いています



モーターを組み込んでいる様子



扇風機風の勢いよく回っています

ねんどでかわいい キーホルダー作り

「夏休み子ども体験教室」の第2弾は、ふれあい情報館カルチャー教室などで講師をお願いしています加藤裕美先生による「ねんどでかわいいキーホルダー作り」でした。2回の教室に全部で20組の親子41名が参加していただきました。

先生にご用意していただいた耐水性のあるねんどが土台となります。クッキーやチョコレート色のカラーねんどを、やわらかくなるまでよく丸めます。その時、ひびが入らないようにするのがコツだそうです。次に丸く平らにのばしてから、型抜きでハートやクッキーの形にして、キーホルダーを取り付けました。土台にホイップクリーム風の接着剤でデコレーションして、ビーズなどでトッピング。さらに残ったねんどで小さなドーナツを作って飾ると、まるで本物のスイーツのような仕上がりで、食べたくなるような作品でした。

中には質より量で、たくさんのホイップに山のようなトッピングで飾り付けている子も見られました。食べられないけれど、いっぱいになりたい気持ちはわかる気がします。

加藤先生は、子どもたちだけではなく、大人ももっと「ねんど」にチャレンジしてほしいと言っておられましたが、そばで見ているもやってみたいと思いました。みなさんも童心にかえて、「大人のねんど」いかがでしょうか？



おいしそうなクッキーみたいです。



みんなデコレーションに夢中です！

